

2025～	社会福祉原論	単位数	履修方法	配当学年
		2単位	SR	1・2年
		担当教員	元村 智明	

■授業のテーマ

社会福祉学批判—社会福祉学と社会福祉実践への根源的問いかけ

■授業の目的

社会福祉学を人間と社会を対象とする学問分野と指定し、社会福祉学研究及び実践に関する用語や術語の吟味・再考を目的とし、多角的かつ批判的に考察します。

■授業の到達目標

社会福祉学研究と社会福祉学実践の本質を問う観点（立場）について、各自がその仮説提示をすることができます。

■授業の概要

社会福祉学研究、及び社会福祉学実践の根源的課題について考究します。“社会福祉”は、歴史的には、（日本に限定しても）慈恵、慈悲、救済事業、慈善事業、感化救済事業、社会事業（経済保護事業を含む）、及び厚生事業、社会福祉事業等も名称変更を経ながら、現在の社会福祉の形成に至っています。その過程では、“社会福祉”は社会政策や社会保障、更には、公的扶助との概念が交錯、あるいは相互関連しながら、一見わかりやすく（例えば、人間の「幸せ」等という言説）、されど説明し難い概念と言えます。

さらに社会福祉士等の国家資格化とそれへの対応としての社会福祉教育（ソーシャルワーク教育）は、「社会福祉」事象に関する知識が標準化され、実習・演習の一定の質の向上があったと評価できます。しかし、国家試験が学部教育においては、結果として用語・術語の学習に留まる状況があり、研究面では、とりわけ本質的考究を目指す研究の低迷・停滞は当然の帰結といえるかもしれません。そのうえで、大学院における教育研究が設定されていると考えることができます。

この授業のオンデマンドにおいては、社会福祉学研究、及び福祉実践の基礎的な用語・術語の考察、つまり再考・再吟味を行い、各自がそれを再検討・批評する内容とします。

以上を通して各自の社会福祉観の仮説提示に繋がることが目的です。

■在宅学修

（１）レポート課題

課題 1	現代社会における社会福祉学研究の課題を一つ取り上げ、それを論評してください。	【提出期限】 ☒ 対面授業 1 週間前まで ☐ 対面授業前日まで ☐ その他 ()
課題 2 (事後課題)	自らの実践、経験を含め、あわせて社会福祉学の先行研究を援用しながら、自らの社会福祉観の仮説を提示してください。	【提出期限】 ☐ 対面授業後 1 ヶ月以内 ☒ 受講年度の最終レポート受付日まで ☐ その他 ()

【要確認】在宅での印刷教材等による学修の報告となる「レポート課題」の他に、オンデマンドを含むスクーリングでは「スクーリング事前課題」「スクーリング事後課題」が設けられています。スクーリング課題（予習・復習）がレ

ポート課題1・2に相当する場合、それとは別に設けられている場合があります。この後に記載のスクーリングの項の各課題についても確認してください。

(2) アドバイス

課題1 アドバイス

現代社会の諸問題のうち何を社会福祉学の課題とするのか、否か、が社会福祉学を研究する上で、重要な分岐点となります。それはとても難しいことですが、社会福祉学の対象認識に関わる問題です。広く社会状況の変貌と諸科学の動向をも概観しながら、社会福祉学の対象を見つけてください。何を「社会福祉学の対象とするか?」、その問いを自らが見出し設定してください。ご自分の研究課題（修士論文のテーマ）とも関連しながらまとめることをお勧めします。

課題2 アドバイス

社会福祉学を学ぶために最も重要な社会福祉観を借りものではなく、自らのものにするために、ご自分の経験を大切にしながら、また、あわせて先行の理論研究も学びながら、できるだけご自分の言葉で述べてみてください。

(3) 在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
1	社会福祉における原論の位置づけ	学問、科学、規範	社会福祉実践（ソーシャルワーク）と社会福祉学研究に「社会福祉原論」の必要性を考えてください。 ＊必読文献『社会福祉原論』『序にかえて』を精読ください。
2	社会福祉の発展	相互扶助・慈善事業・博愛事業・救済事業（救済事業）・保護事業・福祉国家	「社会福祉」の成立について社会福祉の論理展開としての全体像を捉えてください。 ＊必読文献「社会福祉の発展」を精読ください。
3	社会福祉固有の視点	視点の意味、社会生活の基本的要求（安定・保障・機会）、社会関係（個人・社会制度）	人が人に関わる専門職業である社会福祉が医療や教育と異なる基本的視点と基本的要求、そして社会関係を理解されてください。 ＊必読文献「社会福祉固有の視点」を精読ください。
4	社会福祉的援助の原理	視点と原理、社会性の原理、全体性の原理、主体性の原理、現実性の原理	生活支援を考える前提としてまずは社会福祉の視点と原理にもとづく4つの援助原理について理解されてください。 ＊必読文献「社会福祉的援助の原理」を精読ください。
5	社会福祉の対象	対象の意味、社会関係の不調和、社会関係の欠損、社会制度の欠陥	対象理解と対象者理解は異なります。いかに異なるかについて整理し、理解されたうえで社会福祉の対象について考えてみてください。 ＊必読文献「社会福祉の対象」を精読ください。
6	社会福祉の機能と分野	機能の意味、評価的機能、調整的機能、送致的機能、開発的機能、保護的機能、社会福祉の分野	社会福祉のもつ機能について医療や教育とは異なる点を理解し説明できるようにしてください。そのうえで社会福祉の分野の成立する意味について考えてください。 ＊必読文献「社会福祉の機能と分野」を精読ください。
7	社会福祉の方法	方法の意味、評価・調整・送致・開発・保護の方法、援助関係とコミュニケーション、方法の過程	社会福祉は、医療（医師患者）関係や教育関係とは異なる「援助関係」（専門的援助関係）が求められ、そのうえで方法の意味と過程について理解をされてください。 ＊必読文献「社会福祉の方法」を精読ください。
8	レポート課題1の作成（その1）	基本文献、基礎史資料、先行研究	レポート課題1の作成を目指して、基本文献及び基礎史資料を蒐集してください。
9	レポート課題1の作成（その2）	批評、推敲	レポート課題1の作成を目指して、渉猟・蒐集の文献史資料を批評してレポート作成を進めてください。
10	基本文献・史資料を読む①	精読・精査	各自の研究テーマ・研究課題にもとづく基本文献を渉猟・蒐集し精読されてください。
11	基本文献・史資料を読む②	精読・精査	渉猟・蒐集した基本文献を取り上げた理由を含めて文献批評してください。
12	先行研究を読む①	精読	各自の研究テーマ・研究課題にもとづく先行研究を渉猟・蒐集し精読されてください。

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
13	先行研究を読む②	精読	渉猟・蒐集した先行研究を取り上げた理由を含めて先行研究を批評してください。
14	レポート課題2の作成(その1)	先行研究 省察 内省	レポート課題2の作成を目指して、基本文献及び先行研究を踏まえて立論してください。
15	レポート課題2の作成(その2)	推敲	レポート課題2の作成を目指して、推敲してください。

■スクーリング

(1) スクーリング事前課題(学修時間目安: 4時間以上)

社会福祉学研究における、現時点での各自の研究テーマ・研究課題に関する基本文献及び先行研究を蒐集し、なぜそれを研究課題とされたかを今一度問い直されてみてください。スクーリングではA4用紙1枚程度にまとめて発表いただきます。提出は、対面スクーリング開始日までを目処とします。

対面授業時に、各自の設定した研究テーマと研究課題について報告し、全体討議を行います。

(2) スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	「福祉」と「社会福祉」について考える	オンデマンド
2	愛他理念と福祉実践	オンデマンド
3	「社会福祉」認識の三段階論	オンデマンド
4	社会福祉の現代的形成	オンデマンド
5	戦後日本社会と社会福祉	オンデマンド
6	社会福祉学研究と研究方法論	オンデマンド
7	社会福祉の目的論	対面
8	社会福祉の対象論	対面
9	社会福祉の方法論	対面
10	社会福祉の学問論	対面

(3) スクーリング事後課題(学修時間目安: 4時間)

スクーリングで学ばれたことを機縁とされ、社会福祉原論に関する先行研究、並びに各自の人生経験(「福祉」や「社会福祉」に限定せず、仕事や日常生活全般を通して)等をも振り返りながら、自らの社会福祉観をまとめてみてください。

■評価の方法・基準

- ・課題1レポート(15%)、課題2レポート(15%)
- ・スクーリング(70%)

■参考文献(*印=大学から送付される必読図書)

*1) 岡村重夫『社会福祉原論』(全国社会福祉協議会、1983年)は、“社会福祉原論”研究の古典的名著『全訂 社会福祉学(総論)』1968年を要約した完成版といえます。

この機会に、是非ともこの文献に当たってください。国家試験を前提としているいわゆる教科書と違い少し難読するかもしれませんが、それも学問的営為の一環とされていてはいかがでしょうか。優れた文献を読むことは、優れた論文を書く力を必ず育ててくれますので…。

その他参考文献は、オンデマンド時に配信しますレジュメ(拙稿)に記載しております。